

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2022 年度第 1 回データベース委員会 議事録

日時:2022年03月02日(水) 20:00~21:00

場所:オンライン会議(Zoom)

出席委員 (敬称略) : 筑田 (担当理事)、金村 (委員長)、岩崎、石井、今釜、上田、大鳥、細金、吉井、海渡、山田、渡邊、町野、伊藤、有馬、藤田 (アドバイザー)、高橋 (ファスト)、種市 (アドバイザー)、波呂 (アドバイザー)、渡辺 (アドバイザー)、松山 (アドバイザー)

欠席委員 (敬称略) : なし

陪席 (敬称略) : 渡辺 (日本側彎症学会)、中川 (JOA 脊椎脊髄病医委員会)、新村 (JSSR-DB 事務局)

報告事項

1. 理事会報告 (筑田理事)

今後指導医の更新に際して、JSSR-DBでの登録症例が使用される方向性が話し合われた。

2. 前回議事録の確認

資料 1

3. JSSR-DB 2021 登録状況

資料 2

1) 2021年度JSSR-DB登録状況のまとめ

- ・登録数 11723件 2022年2月28日時点
- ・登録施設 701施設 2022年2月7日時点
(登録対象機関でない31施設を含む)
- ・未登録施設 436施設 2022年2月7日時点

2021年度登録対象機関 1106施設 (JSSR指導医が在籍する施設)

推定施設登録率 77.8%

4. JSSR-DB 2021&2022 ロードマップ

資料 3

■ JSSR-DB 2021の解析環境

2022年4月初旬にクラウド上でJSSR-DB 2021の解析環境が出来上がる予定

その後データクレンジングを行い、登録者にフィードバックを行う。

2022年8月-9月 データ固定を目指していく。

■ JSSR-DB 2022のシステム改修状況

現在、JSSR-DB 2022にむけたシステム改修を行なっているが、改修作業量によつては、優先順位をつけて改修作業を進めていく。

■ JSIS-DB連携

2022年3月末には新バージョンテストを開始する予定。

■ 各種レジストリ

4月からJSSR-DB統合型として脊椎内視鏡インシデントレポート、頸椎人工椎間板が統合。XLIF, ACR, OLIF5/1は新技術DBとして継続。

審議事項

1. 新技術DB研究計画書改訂

① OLIF51

資料 4

登録期間を2022/3/31から2024/3/31までに変更

② ACR

資料 5

登録期間を2022/3/31から2024/3/31までに変更

上記の研究計画の改訂に関して、委員からの反対意見はなく承認された。

2. JSSR-DB 2022年度 改修・追加項目

資料 6

JSSR-DB 2022年度追加項目

■ 改修作業中

1. 頸椎椎人工椎間板置換術への対応（重）

UIVとLIV、1椎間、2椎間、バーコードリーダー、合併症追加

2. 脊椎内視鏡インシデントレポートへの対応（中）

術式小分類追加

3. 同一手術で多部位で同じ術式（主たる術式）を施行した場合、2階部分で小項目が二つ展開する。（重重）

→本術式がJOANRでどのくらい行われているかを調査した上で、改修の優先順位を決定する。現時点では、優先順位をさげる方針とする。

4. 合併症対応で再手術有無のラジオボタンを各々の合併症の直下に配置（術中・術後・全身）

5. 合併症項目の一部変更

「硬膜損傷・髄液漏」の改変、「固定金属関連・骨移植関連」定義改変

6. 「術式加算・追加加」の項目名変更

3. データクレンジング項目（案）

資料 7

• JOANR データクレンジング項目

• 手術の種別：初回手術、予定二期手術、再手術/追加手術

• 術式加算・追加：自己血回収術、脊髄誘発電位、画像等手術支援、他

- 術式小分類
 - 椎弓スペーサー・プレート使用
 - 手術高位 UIV、LIV
 - 病名：大分類、中分類、小分類
 - 骨切り併用 種別、レベル
 - 椎体形成術併用
 - 術中合併症：再手術、合併症項目、合併症詳細、合併症の対応
 - 術後合併症：再手術、合併症項目、合併症詳細、合併症の対応
 - 全身合併症：再手術、合併症項目、合併症詳細、合併症の対応
- 全項目をビュー項目で確認できるように設計する。
 →術式小分類、病名のクレンジングは必須。
 →合併症に関しては、最初に一定数確認してから、どの程度クレンジングを行うかを定める。

4. JSSR-DB 2022 検討課題

資料 8

■ JSSR-DB 2022年度検検討課題 4月見送り

1. 同一 位での主たる術式・従たる術式の混在
 従たる術式のJSSR-DBへの展開
 →これは重要な改修ではあるが登録者の作業が増えるため委員会で検討していく。
2. 1つの術式に対して術式小分類が1つしか選べない。
 例 椎弓形成術 片開き+椎間孔拡大術 4月対応予定
3. 主たる術式が非固定術、従たる術式が固定術の場合
 JSIS-DBへの連携時の課題
4. 「一般的な整形外科手術」から「脊椎DB」への変更・追加
 →4月運用でどの程度不具合が生じるかを見てから判断する。
5. 「脊椎DB」から「一般的な整形外科手術」への変更
6. 脳神経外科（脊髄外科）医の手術登録
 →希望があった際はJOAに入会、JOANRに参加していただき登録していただく
7. 自費診療での手術登録
 K-codeのついている術式であれば登録可

5. JSSR-DB WG 2022（敬称略）

資料 9

筑田、金村、山田、吉井、上田、有馬、伊藤、町野、渡辺慶、中川、新村、種市
 JSSR-DB データクレンジングWG（敬称略）
 筑田、金村、有馬、岩崎、石井、大鳥、細金、海渡、今釜、渡辺航、新村、種市

次回開催日

2022年度第2回

3月29日（火） 19:00-